

公共施設マネジメント実施計画 数値目標について(数値は未確定)

1 費用の目標について

公共施設等総合管理計画に合わせた試算(令和3年度～令和28年度分)

60年周期で同面積で建て替えた場合のLCC試算 (総合管理計画「耐用年数経過時に単純更新した場合」) 1,004億円	
施設ごとに更新時期・建替面積を精査した経費見込み (総合管理計画「維持管理・更新等に係る経費の見込み」) 611億円	精査の結果縮減できる見込みの額 (総合管理計画「長寿命化対策等の効果額」) 393億円
維持更新費用の実績 (総合管理計画「現在要している経費」) 11.7億円×26年=304億円	さらに確保が必要な額 307億円 (年平均11.8億円)
既存のまま維持する場合に不足する額 700億円	

費用確保の手法

- ・床面積の縮減、運営の効率化等による運営費の縮減
- ・使用料の適正化、未利用スペースの貸付等による収入の確保
- ・施設整備に用いるために積み立てた基金の活用、基金の積み増し
- ・民間の活用による維持更新経費・運営費の縮減
- ・更なる施設の複合化等の実施による維持更新経費・運営費の縮減

2 保有量の目標について

現在の目標(建物更新時に概ね3割を縮減)を維持する。

(一律3割縮減ではなく、全体として3割を縮減することを分かりやすく記載する。)

(参考)人口の推移

	H22	H27	R2
国勢調査人口	82,249	81,100	79,501
人口ビジョン目標値		80,973	79,179
差引	—	127	322

3 その他の目標について

適正化・効率化以外の視点からの目標追加について

(例)利用者数の増加(比較可能データあり)

(例)利用者の満足度(現在のデータなし、指標とするのであれば今後市民意識調査等で定期的にデータ収集)